

喀痰吸引等研修(第1・2号研修) 募集要項

1 目的

特別養護老人ホーム、介護老人保健施設などの施設および居宅において、必要なケアをより安全に提供するため社会福祉士及び介護福祉士法施行規則附則第4条に基づく研修(第1・2号研修)を実施し、適切に喀痰吸引等を行うことができる介護職員等を養成する。

2 主催

医療法人社団 湘風会

3 受講対象者

- (1) 特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、グループホーム、有料老人ホーム、障害者(児)施設等(医療施設は除く)、居宅サービス事業所等に就業している介護職員等(介護福祉士を含む)の方で、たん吸引等を必要とする利用者がいる等、業務上本講習会が必要で、所定のカリキュラムをすべて受講できる方。
- (2) 介護福祉士で、所定のカリキュラムをすべて受講できる方。

4 募集定員

10人 定員に達し次第募集を締め切らせていただきます。

5 受講料

- (1) 基礎研修(講義・演習)
83,000円(テキスト料含む) ・
- (2) 基礎研修(講義・演習) + 実地研修
125,000円(テキスト・保険料含む)

6 キャンセルについて

初回研修開催前の解約の場合は納入済みの受講料は全額返還する。但し、返金に際しての振込手数料は受講生負担とする。初回研修開始後の受講生の自己都合による解約の場合は、納入済みの受講料は原則として返金しないものとする

7 カリキュラム

| 基本研修（講義） | | | |
|---------------------------|-----------------------------|-----|---------|
| 大項目 | 中項目 | | 時間数 |
| 人間と社会 | 個人の尊厳と 自立 | 0.5 | 1.5 時間 |
| | 医療の倫理 | 0.5 | |
| | 利用者や家族の気持ちの理解 | 0.5 | |
| 保健医療制度 とチーム医療 | 保健医療に関する制度 | 1.0 | 2.0 時間 |
| | 医行為に関する法律 | 0.5 | |
| | チーム医療と介護職との連携 | 0.5 | |
| 安全な療養生活 | たんの吸引や経管栄養の安全な実施 | 2.0 | 4.0 時間 |
| | 救急蘇生法 | 2.0 | |
| 清潔保持と感染予防 | 感染予防 | 0.5 | 2.5 時間 |
| | 職員の感染予防 | 0.5 | |
| | 療養環境の清潔、消毒法 | 0.5 | |
| | 滅菌と消毒 | 1.0 | |
| 健康状態の把握 | 身体・維持の健康 | 1.0 | 3.0 時間 |
| | 健康状態を知る項目（バイタルサインなど） | 1.5 | |
| | 急変状態について | 0.5 | |
| 高齢者及び障害児・者の「たんの吸引」概論 | 呼吸の仕組みとはたらき | 1.5 | 11.0 時間 |
| | いつもと違う呼吸状態 | 1.0 | |
| | たんの吸引とは | 1.0 | |
| | 人工呼吸器と吸引 | 2.0 | |
| | 子どもの吸引について | 1.0 | |
| | 吸引を受ける利用者や家族の気持ちと対応、説明と同意 | 0.5 | |
| | 呼吸器系の感染と予防（吸引と関連して） | 1.0 | |
| | たんの吸引により生じる危険、事後の安全確認 | 1.0 | |
| | 急変、事故発生時の対応と事前対策 | 2.0 | |
| 高齢者及び障がい児・者の「たんの吸引」実施手順解説 | たんの吸引で用いる器具・器材とその仕組み、清潔の保持 | 1.0 | 8.0 時間 |
| | 吸引の技術留意点 | 5.0 | |
| | たんの吸引に伴うケア | 1.0 | |
| | 報告及び記録 | 1.0 | |
| 高齢者及び障がい児・者の「経管栄養」概論 | 消化器系の仕組みとはたらき | 1.5 | 10.0 時間 |
| | 消化・吸収とよくある消化器の症状 | 1.0 | |
| | 経管栄養法とは | 1.0 | |
| | 注入する内容に関する知識 | 1.0 | |
| | 経管栄養実施上の留意点 | 1.0 | |
| | 子どもの経管栄養について | 1.0 | |
| | 経管栄養に関する感染と予防 | 1.0 | |
| | 経管栄養を受ける利用者や家族の気持ちと対応、説明と同意 | 0.5 | |
| | 経管栄養により生じる危険、注入後の安全確認 | 1.0 | |
| 急変、事故発生時の対応と事前対策 | 1.0 | | |
| 高齢者及び障がい児・者の「経管栄養」実施手順解説 | 経管栄養で用いる器具・器材とその仕組み、清潔の保持 | 1.0 | 8.0 時間 |
| | 経管栄養の技術留意点 | 5.0 | |
| | 経管栄養に必要なケア | 1.0 | |
| | 報告及び記録 | 1.0 | |
| 合 計 | | | 50.0 時間 |
| | | | |

| | | | |
|----------|-----------------|--------|--|
| 基本研修（演習） | | | |
| | 科 目 | 回 数 | |
| | 口腔内の喀痰吸引 | 5 回以上 | |
| | 鼻腔内の喀痰吸引 | 5 回以上 | |
| | 気管カニューレ内の喀痰吸引 | 5 回以上 | |
| | 胃ろう又は腸ろうによる経管栄養 | 5 回以上 | |
| | 経鼻経管栄養 | 5 回以上 | |
| | 救急蘇生法 | 1 回以上 | |
| | | | |
| 実地研修 | | | |
| | 科 目 | 回 数 | |
| | 口腔内の喀痰吸引 | 10 回以上 | |
| | 鼻腔内の喀痰吸引 | 20 回以上 | |
| | 気管カニューレ内の喀痰吸引 | 20 回以上 | |
| | 胃ろう又は腸ろうによる経管栄養 | 20 回以上 | |
| | 経鼻経管栄養 | 20 回以上 | |

8 研修場所

基本研修（講義・演習） 医療法人社団 湘風会

介護老人保健施設 フィオーレ湘南真田

（神奈川県平塚市真田 3-1-1）

※小田急電鉄 東海大学前駅下車 徒歩 15 分

実地研修

医療法人社団 三喜会

鶴巻温泉病院（神奈川県秦野市鶴巻北 1-16-1）

※小田急電鉄 鶴巻温泉駅下車 徒歩 3 分

10 申込方法

受講申込は、受講申込書に必要事項を記入の上、「湘風会グループ研修事務局」宛てに郵送又は FAX をお願い致します。

11 受講料お振込先

横浜銀行 大磯支店 普通預金 1153057

医療法人社団 湘風会 理事長 藤田幸子

イ) シャダン ショウフウカイ リジチョウ フジタユキコ

12 申込受付期間

2021年 8月 2日（月）～ 9月 17日（金）

申込が定員を超える場合は湘風会グループ研修実施委員会で選考の上、決定します。

1 3 修了証明書

研修の全課程を修了した受講生に対し、修了証明書を交付します。

1 4 問い合わせ先

湘風会グループ研修事務局 〒259-1206 神奈川県平塚市真田3-1-1
フィオーレ湘南真田内

TEL : 0463-75-8802

FAX : 0463-75-8816

研修事務局担当 矢後

1 5 受講に際しての注意事項

服装について

- ・動きやすく受講にふさわしい服装でお願いいたします。